

1. 業務開始まで

2005年4月に新人職員を1名診療情報管理室の専任スタッフとして迎え、開院当初からの計画であった診療情報管理業務を開始することができた。

5月に開院時からの退院カルテの整理・収納を開始した。収納は患者ID番号の下2桁をターミナルデジット式で並べる方式とした。

2. 診療録管理体制加算の施設基準取得

退院カルテの収納業務開始に伴い、診療録管理体制加算の施設基準の申請準備を開始した。施設基準の要件は下記のとおりである。

- (1) 診療記録（過去5年間の診療録並びに過去3年間の手術記録、看護記録等）のすべてが保管・管理されていること。
- (2) 中央病歴管理室が設置されていること。
- (3) 診療録管理部門又は診療記録管理委員会が設置されていること。

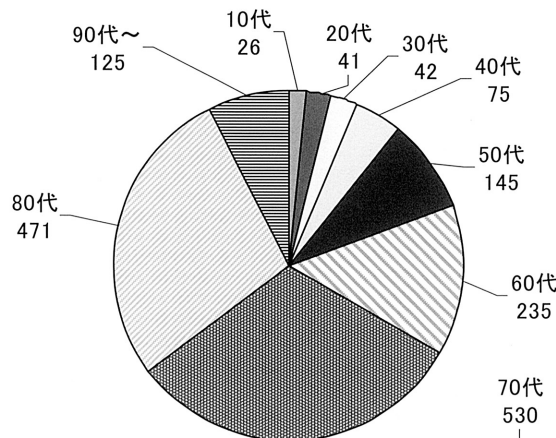
- (4) 診療記録の保管・管理のための規定が明文化されていること。
- (5) 1名以上の診療記録管理者が配置されていること。
- (6) 保管・管理された診療記録が疾病別に検索・抽出できること。
- (7) 入院患者についての疾病統計には、ICD大分類程度以上の疾病分類がされていること。
- (8) 全診療科において退院時要約が全患者について作成されていること。
- (9) 患者に対し診療情報の提供が現に行われていること。

退院サマリーを利用して4月の退院患者分からICD-10にてコード付けを開始した。大分類で科別・年齢別・在院日数別・転帰別等の統計を作成し、5月末に施設基準の申請を済ませ、6月からの加算にこぎつけた。

院内各部署からの多大な協力を得て申請業務を終了することができた。

章	ICD大分類	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代~	総計
1	感染症および寄生虫症	2	7	6	1	8	6	16	12	2	60
2	新生物	0	1	0	5	23	38	72	45	5	189
3	血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の障害	0	0	0	1	0	0	4	2	0	7
4	内分泌栄養および代謝疾患	0	0	1	1	11	13	20	16	5	67
5	精神および行動の障害	1	3	3	4	3	3	4	6	1	28
6	神経系の疾患	1	2	4	0	2	4	13	4	2	32
8	耳および乳様突起の疾患	0	0	0	0	1	1	3	1	0	6
9	循環器系の疾患	1	0	3	11	16	47	135	98	34	345
10	呼吸器系の疾患	7	3	4	6	5	15	52	67	31	190
11	消化器系の疾患	7	5	8	20	31	38	58	69	15	251
12	皮膚および皮下組織の疾患	0	0	0	0	0	2	3	7	1	13
13	筋骨格系および結合組織の疾患	1	0	1	2	2	2	16	17	2	43
14	尿路性器系の疾患	0	1	3	4	8	13	17	14	6	66
17	先天奇形変形および染色体異常	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
18	症状徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	1	3	4	11	13	38	31	4	106
19	損傷中毒およびその他の外因の影響	5	17	6	16	24	32	63	78	17	258
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	0	1	0	0	0	8	15	4	0	28
総計		26	41	42	75	145	235	530	471	125	1,690

退院患者年齢別内訳



### 3. 2005年の活動

6月からカルテ貸出管理をシステムにて開始した。また、開院時からの退院患者のサマリーの作成を確認した。未作成成分を督促すると同時に医師毎の作成率を提示した。4月現在開院から2005年3月までのサマリー作成率は89.4%、2005年度全体の作成率も89.4%となっている。機能評価受診決定後は作成率を100%に近づけるため、退院から2週間後の未作成成分を各医師に書面で渡し早期の作成を依頼している。

### 4. 疾患分類

2005年度の当院の疾患別統計は下の表のとおりとなった。

章	ICD 大分類	総 計
1	感染症・寄生虫症	59
2	新生物	189
3	血液・造血器・免疫機構の障害	7
4	内分泌・栄養・代謝疾患	67
5	精神・行動の障害	28
6	神経系の疾患	33
8	耳および乳様突起疾患	6
9	循環器系疾患	345
10	呼吸器系疾患	190
11	消化器系疾患	251
12	皮膚・皮下組織疾患	13
13	筋骨格系および結合組織疾患	42
14	尿路器系疾患	66
17	先天奇形変形・染色体異常	1
18	症状・徴候・他に分類されないもの	107
19	損傷中毒・その他の外因の影響	258
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	28
総計		1,690

退院患者疾病統計内訳

